



室蘭市
開港150年・市制施行100年

Muroran

～まち・ひと・みなとつながりが未来を創る～

資料5



第3回 室蘭市地球温暖化対策実行計画策定協議会 室蘭市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定について

2022年12月16日

アジェンダは以下の通り

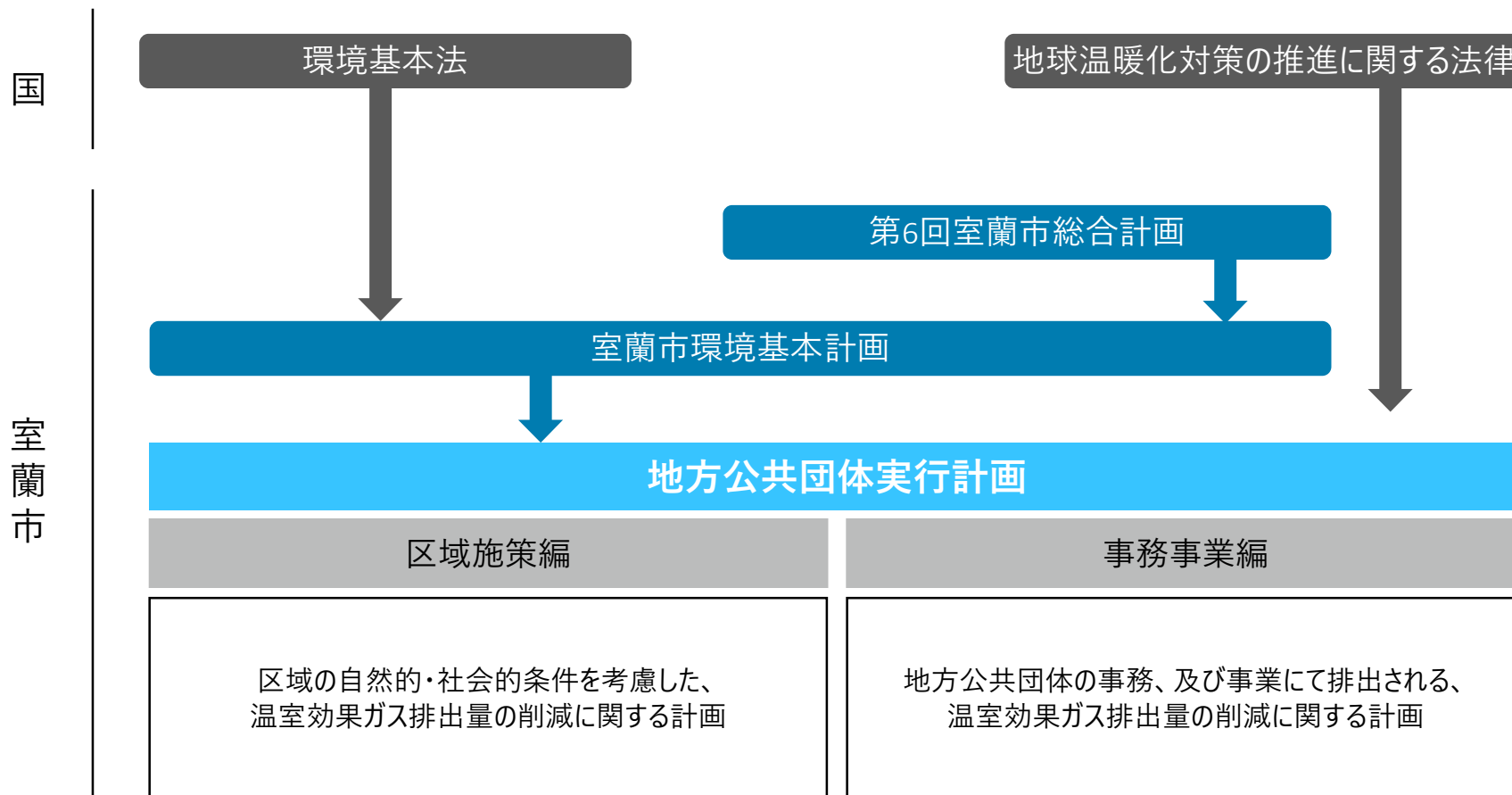
アジェンダ

- 1 事務事業編の位置づけ及び取り組み方針
- 2 事務事業編の検討内容
- 3 協議会の皆様への依頼事項

1 事務事業編の位置づけ及び取り組み方針

1 地方公共団体実行計画（事務事業編）は、地方公共団体の事務及び事業の温室効果ガス削減に向けて策定される

事務事業編の位置づけと概要



1 区域施策編での検討内容や「第5期 室蘭市役所エコオフィスプラン」を基に事務事業編を策定した

事務事業編の改定案作成

- 令和3年度に策定された、室蘭市の事務事業編「第5期 室蘭市役所エコオフィスプラン」の改定案を作成する
- 事務事業編のうち、特に温室効果ガス排出実績、計画の目標、具体的取組について更新する
 - 第5期における算出方法を参考に、市業務由来の温室効果ガス排出量データの整理・分析を行う
 - 区域施策編での検討内容と事務事業編での目標・取組の平仄を合わせる
 - 類似地方公共団体との比較・マニュアルで紹介されている地方公共団体等の先行事例調査の結果を目標や取組の参考にする
- 建物の省エネ化・ZEB化や車両の低炭素化等に活用可能な、国や北海道による支援策の整理を行う

Illustrative

第5期 室蘭市役所エコオフィスプラン

事務事業編の事例集（マニュアルより）

第5期 室蘭市役所エコオフィスプラン — 室蘭市環境保全率先実行計画 —	
環境にやさしい市役所をめざして！	
令和3年6月	
室蘭市	
目 次	
I 基本的事項	1
1 策定の背景	1
2 位置づけ	1
3 対象範囲	1
4 対象期間	1
II これまでのエコオフィスプラン	2
1 第1期から第4期計画の実績の概要	2
III 温室効果ガス排出実績	3
1 温室効果ガス総排出量	3
2 ガス別排出量内訳	3
IV 計画の目標	4
1 温室効果ガス排出量削減目標	4
V 具体的取組	5
1 省エネルギー・省資源	5
2 廃棄物の減量・リサイクル	6
3 グリーン購入	6
4 公共事業（公共建築物・公共工事）	8
5 職員の意識啓発等	8
VI 計画の推進等	9
1 計画の推進について	9
2 推進体制	9
3 点検・評価等	9
参考資料1 二酸化炭素削減量の目安	11
参考資料2 取組実施チェックリスト	12

本資料の使用場面		
✓ 自団体の検討内容に合わせた事例を選択して資料を使用してください。		
使用場面	事例	事例集番号
全庁一丸となった省エネ対策ができる仕組みづくりをしたい	「温暖化対策マネジメントシステム」の構築（静岡県浜松市）	2
各種法対応を一本化した事務事業編を策定したい	事務事業編における各種法対応の一本化（東京都羽村市）	7
ファシリティマネジメントと連携した管理システムを導入したい	ファシリティマネジメントと連携した情報の一元化・共有化（千葉県佐倉市）	12
電気調達先を競争的発注により決定したい	価格点とCO ₂ 排出係数を含む環境配慮点とを合算した基準による電気の調達（千葉県流山市）	13
指定管理者による自発的な省エネ対策を誘発する	指定管理者へのインセンティブ付与による温室効果ガス排出削減に係る取組の誘導（三重県）	22
小学校の省エネルギー化及び長寿命化改修をしたい	小学校の省エネルギー化及び長寿命化の推進（福島県矢吹町）	23
施設建設にコミッションングを実施したい	新庁舎建設におけるコミッションングの実施（長崎県）	25
既存施設のZEB改修を検討したい	既存施設のZEB改修（新潟県柏崎市）	26
地域資源の活用を検討したい	地域内での燃料生産から木質バイオマスエネルギーの活用までの一貫体制モデル（北海道十勝郡内町）	27
主体別の役割分担を明確化した推進体制を構築したい	カーボンマネジメントシステムに基づく各主体別の役割分担及びスケジュールの設定（福岡県古賀市）	33
施設の管理基準を設けたい	点検評価結果を踏まえた管理対象施設の重点化（山口県下関市）	34
ソフト・ハード両面に対して監督・助言を行う責任者を設置したい	エネルギー管理責任者が施設状況を把握し、運営と更新の助言を行うことにより、ハード的な取組を推進（岡山県玉野市）	35

地方公共団体実行計画のマニュアルを参照に、下記項目を掲載した室蘭市における事務事業編を策定した

事務事業編 目次

第1章 計画の基本的事項

1-1. 計画の基本的事項

- (1) 計画策定の目的・背景
- (2) 計画の位置づけ
- (3) 計画の期間
- (4) 計画の対象範囲
- (5) 対象とする温室効果ガス

1-2. 計画改定の趣旨

- (1) これまでの策定の経緯、室蘭市役所エコオフィスプラン（旧計画）の概要
- (2) 旧計画の取組みの実施状況、目標達成状況

第2章 地球温暖化対策の動向

- (1) 我が国における地球温暖化対策
- (2) 北海道と本市における地球温暖化対策
- (3) 政府・北海道における事務事業に対する温暖化対策の取組み

第3章 温室効果ガス排出量の現況と削減目標

3-1. 温室効果ガス排出量の現状

- (1) 温室効果ガス排出量の算出範囲及び算出方法
- (2) 温室効果ガス排出量及び内訳

3-2. 温室効果ガス排出量の削減目標

第4章 地球温暖化対策の推進

4-1. 目標達成に向けた取組み

- (1) 目標達成に向けた取組みの基本方針
- (2) 目標達成に向けた取組み及びその目標
- (3) 温室効果ガス削減量
- (4) 市職員が実行する地球温暖化対策

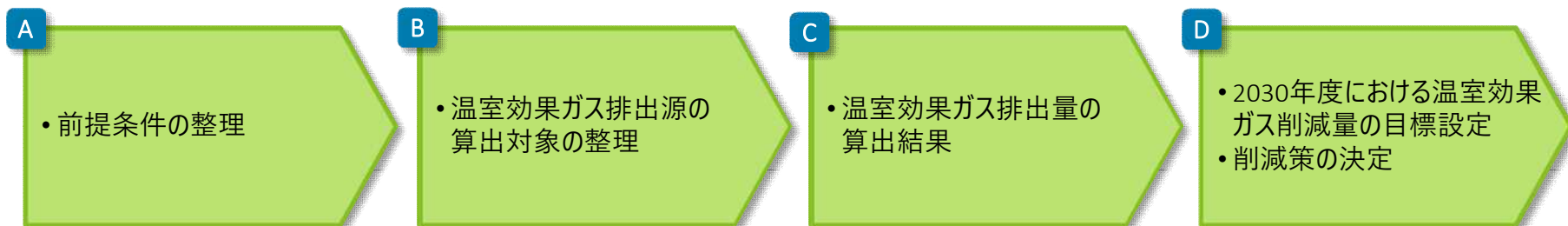
第5章 計画の推進体制及び進行管理

- (1) 計画の推進体制
- (2) 各体制について
- (3) 計画の進行管理

2 事務事業編の検討内容

事務事業編の検討は、マニュアル^{*1}を基に下記検討ステップで実施した

事務事業編策定の検討ステップ



• 前提条件の整理

- ✓ 対象とする温室効果ガスは、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類、六ふっ化硫黄、三ふっ化窒素の7種とする
- ✓ 室蘭市全施設の事務事業を対象とする
- ✓ 基準年度を2013年、現状年度を2020年とする

• 温室効果ガス排出源の算出対象の整理

- ✓ CO₂については、電気・燃料の使用量の実績値のあるものを対象とする
- ✓ それ以外の温室効果ガスについては、P.10に記載の通りとする

• 温室効果ガス排出量の算出結果

- ✓ 施設種別、温室効果ガス種別、燃料種別に事務事業における排出量を算出する
- ✓ CO₂については、電力・エネルギー使用実績に排出係数を乗じることで算出する
- ✓ それ以外のガスについては、マニュアル^{*1}に従い算出する

• 2030年度における温室効果ガス削減量の目標設定
• 削減策の決定

- ✓ 区域施策編と整合性を取り、削減目標を▲65%（2013年度比）に設定する
- ✓ 削減策ごとに目標を設定する

概要

*1:「地方公共団体実行計画（事務事業編）策定・実施マニュアル」環境省（令和3年）を指す。以降マニュアルと表記する

2 計画策定にあたり、前提条件（対象とする温室効果ガス、対象施設および、基準年度、最新年度、目標年度、計画期間）を下記の通り設定した

A 事務事業編の前提条件

対象とする温室効果ガス

- 環境省が定めた温室効果ガス種類に準じて、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類、六ふっ化硫黄、三ふっ化窒素の7種を対象とする

対象とする施設

- 室蘭市全施設の事務事業とする
(指定管理者の管理施設も含む)

基準年度と最新年度

- 国の地球温暖化対策計画に準拠し、2013年度を基準年度とする
- 温室効果ガス排出量算出の際に用いたデータの関係上、2020年度を最新年度とする
- 本計画の期間は、2023年から2030年までの8年間とする
- なお、計画期間内においても、社会情勢、技術革新等により必要に応じて見直しを行う

				現時点 ▼						目標年度 ▼
H25	...	R2	...	R4	R5	R6	R7	...	R12	
2013	...	2020	...	2022	2023	2024	2025	...	2030	
基準年度	...	現状年度	...	策定年度	対策・施策の進捗把握、定期的に見直しの検討					
計画期間										

2 対象とする排出源は下記の通りとする。尚、PFCs、NF3及び非エネルギー起源CO2については本市の事務事業にて排出していないため、排出量はゼロとする

B 温室効果ガス排出源の算定対象

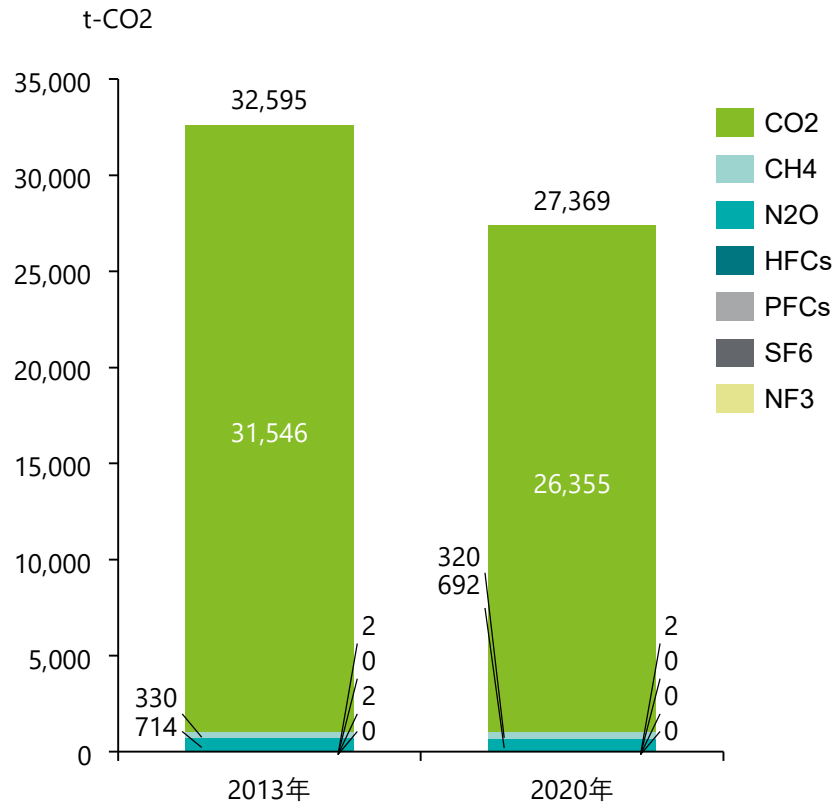
温室効果ガス種	対象とする排出源 * ₁
CO ₂	<ul style="list-style-type: none">エネルギー起源由来の排出 *₂
CH ₄	<ul style="list-style-type: none">家庭用機器における燃料の使用に伴う排出自動車・船舶の使用に伴う排出下水等の処理に伴う排出浄化槽の処理に伴う排出
N ₂ O	<ul style="list-style-type: none">家庭用機器における燃料の使用に伴う排出自動車・船舶の使用に伴う排出麻酔剤の使用に伴う排出下水等の処理に伴う排出浄化槽の処理に伴う排出ディーゼル機関における燃料の使用に伴う排出
HFCs	<ul style="list-style-type: none">自動車用エアコンの使用に伴う排出
SF ₆	<ul style="list-style-type: none">SF₆が封入された電気機械器具以外の製品の使用・点検・廃棄に伴う排出

*₁:マニュアルを基に作成、*₂:西いぶり広域連合新中間処理施設は西いぶり広域連合にて運営されているため、本市の事務事業には該当しない

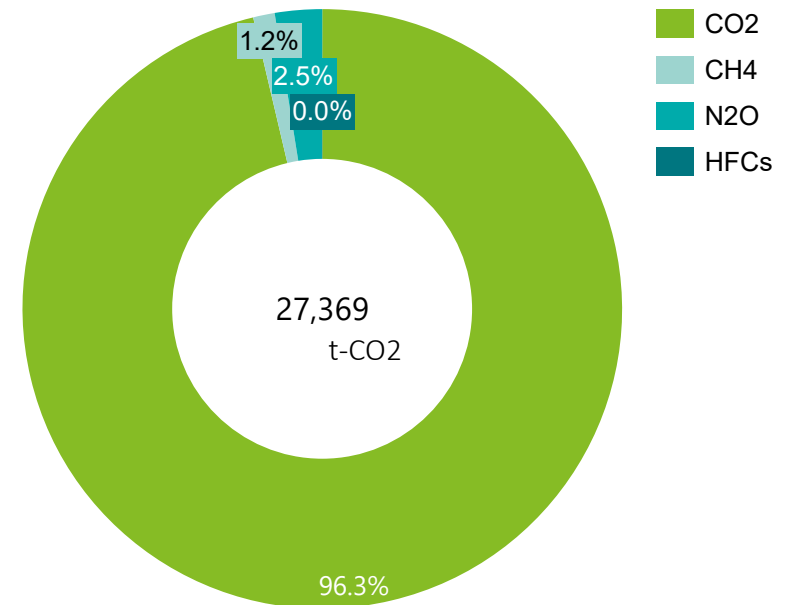
2 電力のCO2排出係数及び施設数の減少等を背景に、事務事業に伴う温室効果ガス排出量は減少傾向にある。また、排出量の大部分をCO2が占めている

C 事務事業における御相次効果ガス排出量（ガス種別）

温室効果ガス種別排出量^{*1}



温室効果ガス種別排出量内訳（2020年）

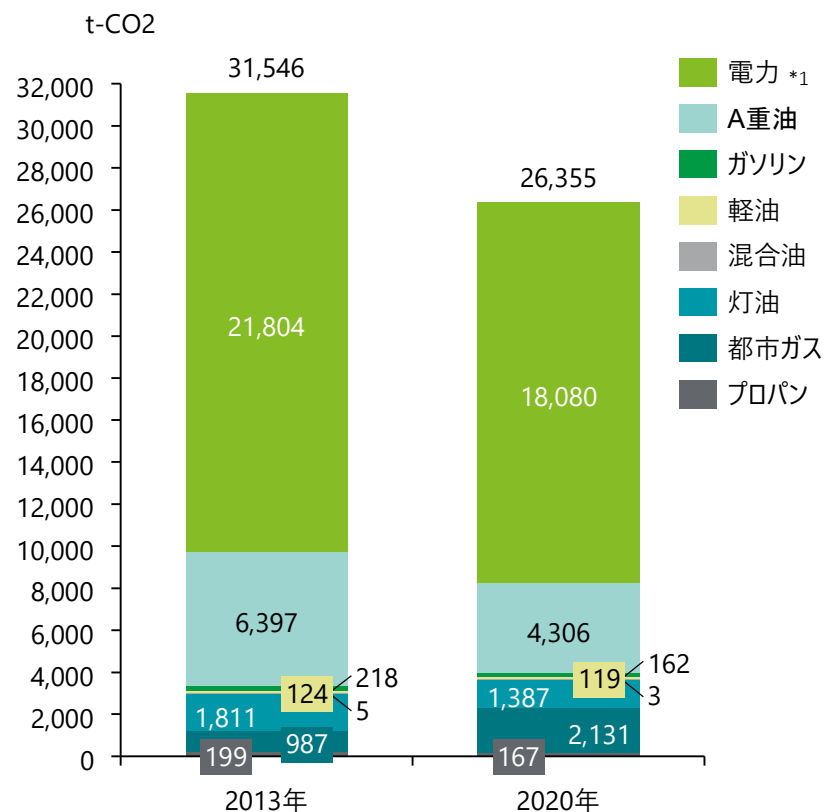


*1:CO2については電力・エネルギーの使用実績にCO2排出係数を乗じることで算出、それ以外については、マニュアル記載の方法に従い算出

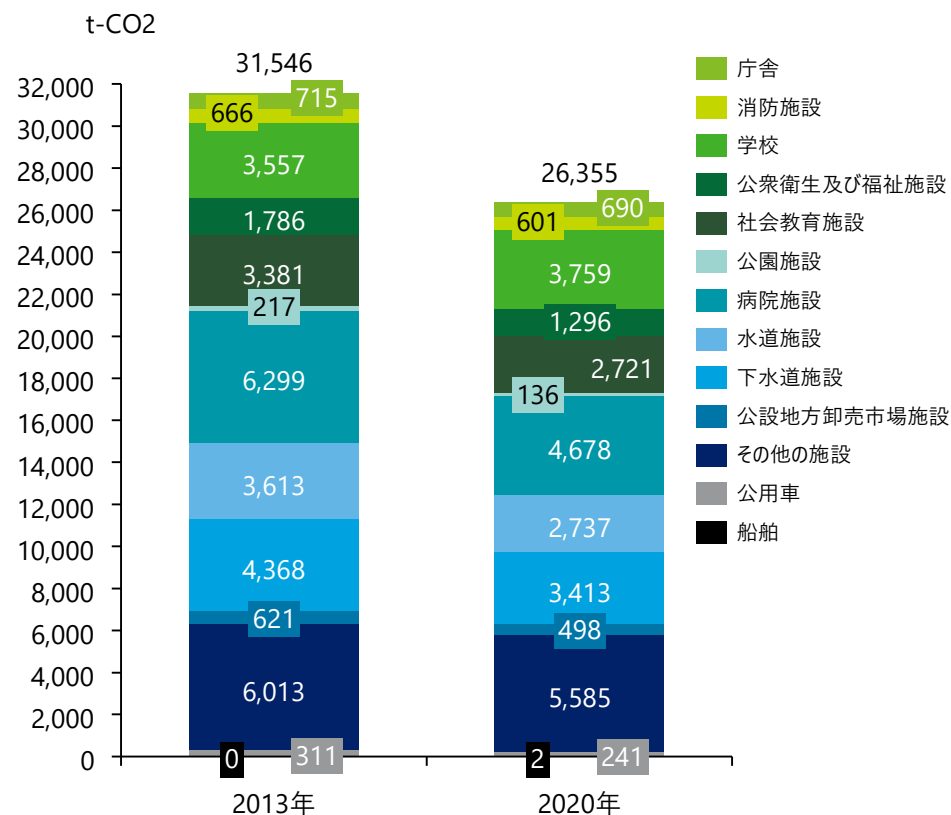
事務事業におけるエネルギー種別及び施設種別のCO2排出量は下記の通りである

C 事務事業におけるCO2排出量（ガス種別）

エネルギー種別排出量



施設種別排出量



*1:電力・エネルギーの使用実績にCO2排出係数を乗じることで算出。尚、電力の排出係数については、「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」に記載の北海道電力の値を引用し、2013年は0.000680 t-CO2/kWh、2020年は0.000601 t-CO2/kWhとした

2 事務事業編の削減目標は、2013年度比▲65%とする。下記5つの方針に則り、市自らが、排出量の削減に向けて率先して取り組むことで、市全体の見本となるようにする

D 事務事業編の削減目標及び取組目標

事務事業編削減目標

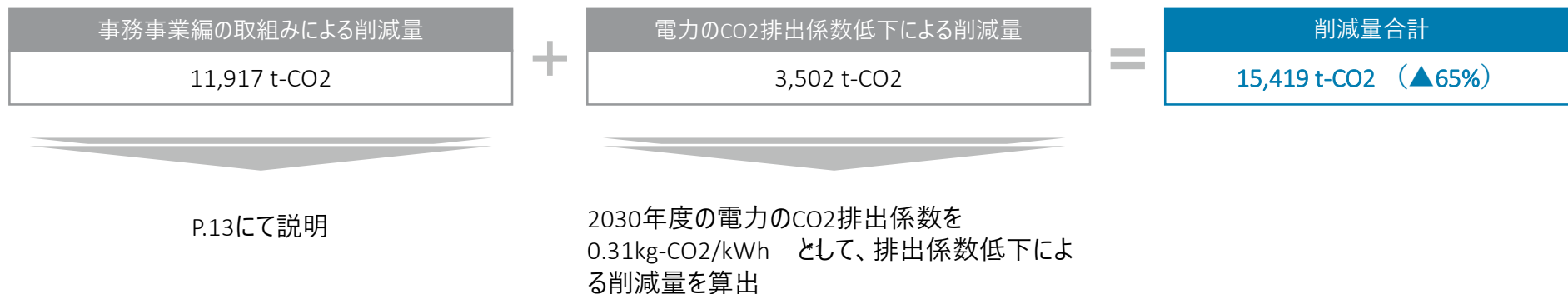
▲65%

- 市自らが、排出量の削減に向けて率先して取り組む姿を見せることで、市全体での取組みをより一層推進するため、区域施策編「業務・その他部門」の削減目標である▲51%より上乗せした、**2013年度比▲65%を目標とする。**

方針	取組み	削減ポテンシャル・成果指標
再生可能エネルギーの最大限の活用	<ul style="list-style-type: none"> 市施設への太陽光発電設備の導入 水道施設における小水力発電事業の検討 廃棄物発電電力の活用 再生可能エネルギー電力の購入 	<p>【削減ポテンシャル】 10,848 t-CO₂</p> <p>【成果指標】 使用電力における再生可能エネルギー比率：60%以上 設置可能な市施設への太陽光発電設備の導入割合：50%以上</p>
建築物の脱炭素化及び省エネルギー対策の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 新築建築物のZEB化 建物の省エネ改修 高効率な省エネ機器・設備の導入 使用エネルギーの見える化 	<p>【削減ポテンシャル】 1,034 t-CO₂</p> <p>【成果指標】 施設におけるLED導入割合：100%</p>
モビリティのゼロエミッション化	<ul style="list-style-type: none"> 公用車の電動車への切り替え 公共交通機関の利用 エコドライブの推進 ごみ収集事業の効率化 	<p>【削減ポテンシャル】 36 t-CO₂</p> <p>【成果指標】 公用車の電動自動車数：68台</p>
資源循環の促進	<ul style="list-style-type: none"> 5Rの徹底 リサイクルの促進 	<p>【削減ポテンシャル】 N/A</p> <p>【成果指標】 N/A</p>
ワークスタイルの変革	<ul style="list-style-type: none"> エコオフィス活動の推進 低負荷環境製品の利用促進 	<p>【削減ポテンシャル】 N/A</p> <p>【成果指標】 N/A</p>

電力の排出係数低下分も考慮にいた、全体での削減量は下記の通りである

D 事務事業編の温室効果ガス削減量



*1:「電気の供給を受ける契約に係る考え方について（案）-電力専門委員会とりまとめ-」環境省（R4）より引用

3 協議会の皆様への依頼事項

3 本日は、事務事業編全体の検討事項について報告した。 これらの内容に関して、皆様より忌憚のないご意見を頂きたい

事務事業編の検討においてご意見頂きたい内容

本会合におけるご報告内容

2

温室効果ガス削減に向けた施策 検討

- 事務事業編前提条件の説明
- 温室効果ガス排出源の算定対象の説明
- 削減目標及び取組目標の検討結果

ご意見頂きたい内容

- 前提条件、温室効果ガス排出源の算定対象に違和感等ないか
- 削減目標及び取組目標に違和感等ないか
- 削減策について、市が見本となって脱炭素化に向けた取り組みを取り進めることで、意識を全体に波及させるという観点から追加・消去すべき事項があれば伺いたく

その他にも、ご意見等あれば伺いたく